

世界に通じる研究と教育を

下関市立大学

世界に通じる研究と教育を。
その研究力を上げる鍵となるのが新学部です。
世界への道を一步踏み出した市大に迫ります。

☎ 下関市立大学 (☎ 252-0288)

総合大学へ

市大は、60年の歴史の中で、大きな変革を迎えます。

これまで経済学部だけの単科大学でしたが、令和6年度にデータサイエンス学部を新設（令和7年度に看護学部（仮称）の新設を予定し、総合大学化を進めています）。

多くの研究者が都市の発展に必要なものを提言しており、それらがデータサイエンスと医療インフラです。

都市の未来を担う人材を育成するため、2つの学部を新設することになりました。

自由で開かれた大学を

下関市民が誇れる大学になるためには、市大から世界に認められる研究を生み出す必要があります。

総合大学になることで、全く違う分野の融合による化学反応や、学生や教員への良い刺激が期待できます。

また、多様性も増し、研究力が高まっていくと考えています。

さらに研究力を高めるため

には、学生を始め、教員一人一人が自由であることが重要です。学生が自由に科目を選び、学んで、チャンスを手にする、自由で開かれた風土を作りりたいと思っています。

そのような自由な環境で、多様性が一層加速すると考えています。

地域との連携

もう一つ重要なのが、地域との連携です。これから市大は、下関の企業や団体と連携を強固にし、提供いただいたデータを分析し、地域の課題を解決していきます。

地域の課題は世界に通じる研究テーマになります。このような研究を推進し、教育の質を向上させ、地域の大学でありながら世界に通用する大学をつくっていきます。

データサイエンス学部の新設により、その第一歩を踏み出しましたので、市民の皆さんのご支援ご協力をお願いします。

下関の高校生へのメッセージ

市大ほど下関の学生が勉強しやすいところはありません。

市内の公立学校であるため、生活環境を変えずに、勉学に集中できます。

国際交流も盛んで、優秀な教員陣と、多様な学生たちに囲まれて、刺激を受けながら勉学・研究に励めます。

地域から世界を見据えた広い視野で、一緒に市大を世界の一流大学にしましょう！

Han Changwan



韓 昌完 学長

